【3】人を育てる工夫がいっぱい！
～エヌエス・テック株式会社様 東北トレーニングセンター訪問記～

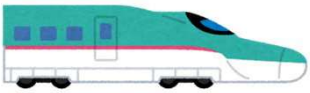


（あおい社会保険労務士法人　徳重若狭）

製造の現場に立つ前に、学べる場所

10月某日、製造業に特化した人材派遣事業を展開するエヌエス・テック株式会社様の東北トレーニングセンターを訪問しました。2026年１月から本格始動したセンターです。豊富なエンジニア経験を持つ講師の方々が、製造業未経験の方にも、基礎知識から安全衛生、実技まで丁寧に教えています。

仙台駅から10分以内でアクセスできる好立地、いざ新幹線でGo！



体験できる工具は
500点以上！



内側の配線が見える
実物の車のドアも?！

「なぜ？」から学ぶ

実際に研修で使っている設備を、私たちも間近で見学。体験もさせていただきました。

大切にしているのは、単に「やり方」ではなく、「なぜそうなるのか」ということ。道具や設備に触れ、手を動かし、目の前で起こる結果を確かめつつ、物理学も含めて学ぶそうです。

「現場に出る前に原理を頭と体で理解すれば、初めて見る工具や機械にも応用できるんです」

という言葉に、この経験が、初めて製造業に挑戦する方にとって心強い準備の時間となり、その先の力にもなると感じました。



ドライバーは、
なぜネジが締まるの？

ボタンや配線を
どうつなぐと
ランプが光る？

加工された金属部品、
ミリ未満の精度を体感！

「いつもと違う」に気づく力

機械設備保全の専門的な知識を学ぶコースでは、機械が正常に動くという「あたりまえ」を維持するため、修理だけでなく予防や改善についても学びます。

そこで大切なのが、「小さな違和感をスルーしないこと」。またトラブルの正確な把握には、「疑問があれば聞く」「機械の状態を正確に伝える」というコミュニケーション力が欠かせない、とのことでした。

こうした研修で築かれた土台は、従業員の安心・安全につながるのはもちろん、送り出す側だけでなく派遣先にとっても大きな安心、さらには定着率のアップにもつながります。

技術と一緒に伝わるもの



特に印象に残ったのは、オリジナルの演習テキストと、講師のみなさんの生き生きとした表情！　テキストは少しずつ複雑なものにも取り組めるよう、レベル別に考えられています。一つずつ理解し、できることを増やしていく、一人ひとりを丁寧に育てようとする愛情が伝わってきました。

人手不足というと、採用の仕方に目が向きがちです。でも今回の見学では、経験のない方を迎え、丁寧に育てることの可能性を改めて感じました。「初めてだから不安」を、少しずつ「できそう」に変えていく。そんな工夫に触れ、ものづくりの面白さだけでなく、人を育てることで生まれる様々な未来まで感じることができた、楽しく学びの多い仙台訪問となりました。

私たちも日々のなかで、人に伝えること、教えることを大切にしたいと思います。





東北トレーニングセンターのみなさま、ありがとうございました！